

# 2019年12月期 決算説明資料

2020年2月27日

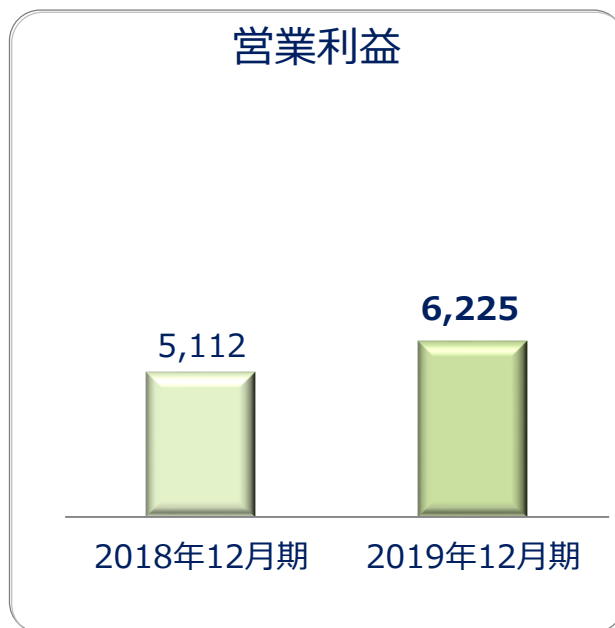
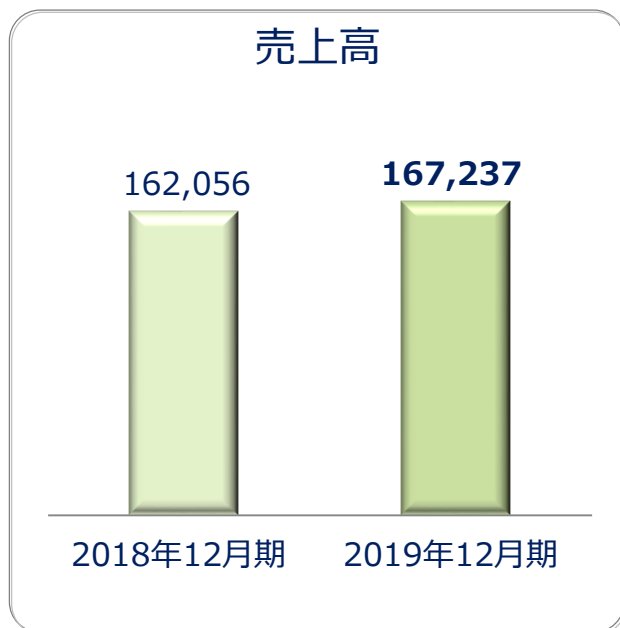
**サカタインクス株式会社**

本資料に記載されている将来の計画数値、種々の施策は2020年2月27日現在で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものでございますが、今後の経済情勢、事業環境等により変化することもあり、計画数値、種々の施策を確約したり、保証するものではありません。

# 2019年12月期 連結業績



(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2018年12月期		2019年12月期					
	金額	売上高比率 %	金額	売上高比率 %	増減額	増減率 %	為替換算影響額	為替影響排除後増減率 %
売上高	162,056		<b>167,237</b>		5,181	3.2	△ 2,548	4.8
営業利益	5,112	3.2	<b>6,225</b>	3.7	1,113	21.8	△ 24	22.3
経常利益	6,910	4.3	<b>7,319</b>	4.4	408	5.9	△ 16	6.2
親会社株主に帰属する当期純利益	4,692	2.9	<b>4,114</b>	2.5	△ 577	△ 12.3	21	△ 12.8

期中レート(USドル) 110.43円

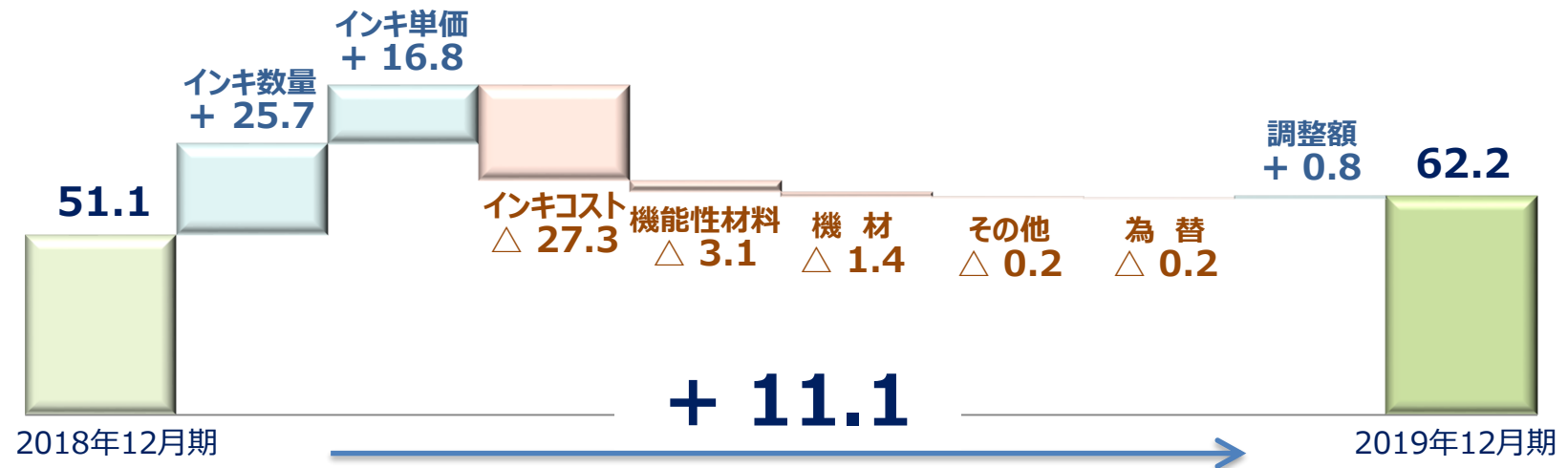
**109.05円**

# 前期比 要因別増減

## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



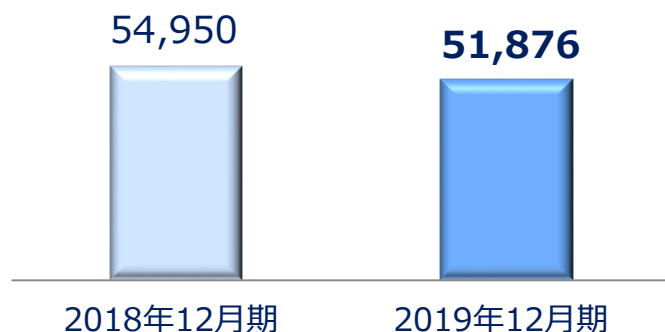
# セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

		2018年12月期 金額	2019年12月期		
			金額	増減額	為替換算影響額
売上高	印刷インキ・機材（日本）	54,950	<b>51,876</b>	△ 3,074	—
	印刷インキ（アジア）	32,156	<b>35,277</b>	3,120	△ 1,162
	印刷インキ（米州）	44,957	<b>48,771</b>	3,814	△ 587
	印刷インキ（欧州）	9,321	<b>9,790</b>	469	△ 616
	機能性材料	12,185	<b>12,452</b>	267	△ 189
	報告セグメント計	153,571	<b>158,168</b>	4,596	△ 2,555
	その他	16,335	<b>16,837</b>	501	—
	調整額	△7,851	<b>△ 7,767</b>	83	6
	合計	162,056	<b>167,237</b>	5,181	△ 2,548
営業利益	印刷インキ・機材（日本）	1,125	<b>822</b>	△ 303	—
	印刷インキ（アジア）	1,529	<b>2,420</b>	890	△ 68
	印刷インキ（米州）	992	<b>1,945</b>	953	△ 23
	印刷インキ（欧州）	△791	<b>△ 985</b>	△ 193	58
	機能性材料	1,222	<b>926</b>	△ 296	10
	報告セグメント計	4,078	<b>5,129</b>	1,050	△ 22
	その他	390	<b>369</b>	△ 20	—
	調整額	643	<b>727</b>	83	△ 2
	合計	5,112	<b>6,225</b>	1,113	△ 24

※2019年12月期より関係会社であったタイとブラジルを連結子会社化

## 売上高（百万円）



+

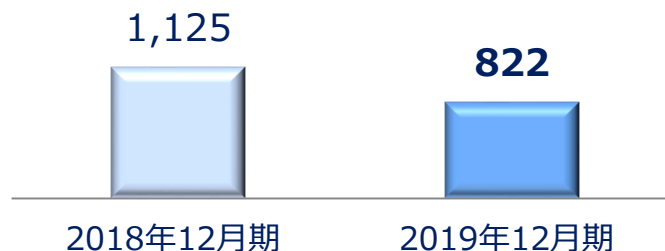
- ▶ ボタニカルインキを始めとした  
環境配慮型インキの拡販

-

- ▶ 天候不順・食品廃棄量削減の取り組みによる影響（パッケージ用インキ）
- ▶ 需要が低調に推移  
（新聞・オフセットインキ・印刷関連機材）

前 期 比	増減額（百万円）	増減率（%）
	△ <b>3,074</b>	△5.6

## 営業利益（百万円）



+

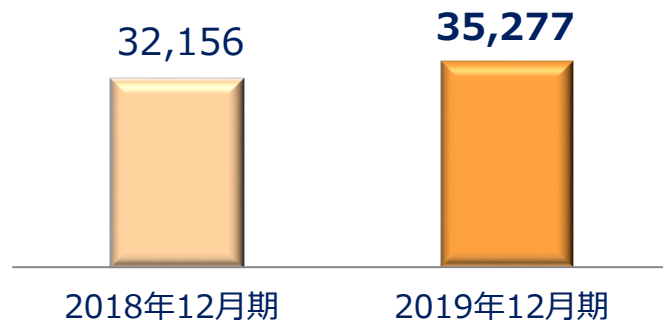
- ▶ インキの価格改定
- ▶ 全般的な経費削減

-

- ▶ 原材料価格の上昇
- ▶ 需要低迷  
（新聞・オフセットインキ・印刷関連機材）
- ▶ 貸倒費用の増加

前 期 比	増減額（百万円）	増減率（%）
	△ <b>303</b>	△26.9

## 売上高（百万円）



+

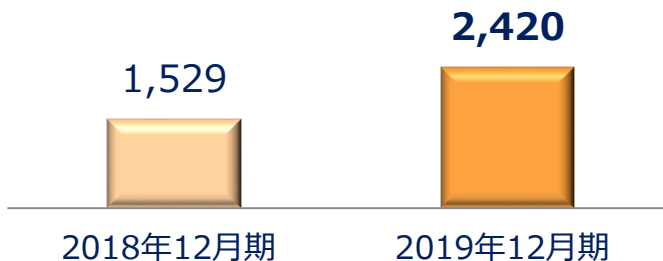
- 販売数量の増加
- インキの価格改定
- タイの新規連結

-

- 中国環境規制強化による一部の材料供給不足
- 円高による為替換算の影響

	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	<b>3,120</b>	9.7
為替影響排除後	<b>4,282</b>	13.3

## 営業利益（百万円）



+

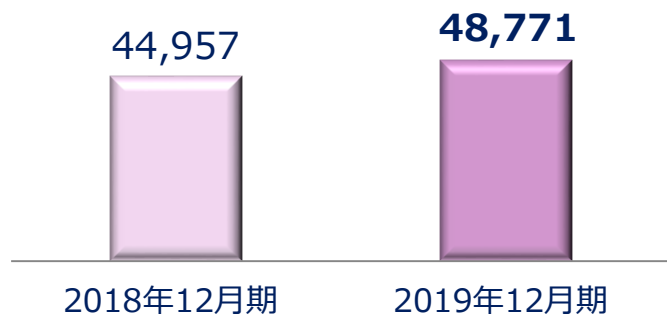
- インキの価格改定
- 原材料費の削減
- タイの新規連結

-

- 一時的な景気の低迷（インドネシア・インド）
- 貸倒費用の増加

	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	<b>890</b>	58.2
為替影響排除後	<b>958</b>	62.7

## 売上高（百万円）



+

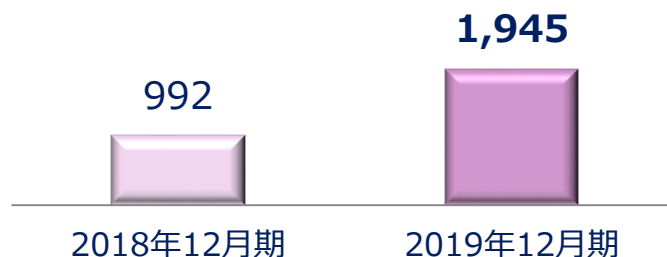
- 販売数量の増加  
（パッケージ用・缶用インキ）
- ブラジルの新規連結

-

- 印刷市場縮小による需要減  
（情報メディア向けオフセットインキ）

	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	<b>3,814</b>	8.5
為替影響排除後	<b>4,401</b>	9.8

## 営業利益（百万円）



+

- 販売数量の増加  
（パッケージ用・缶用インキ）
- インキ価格の改定

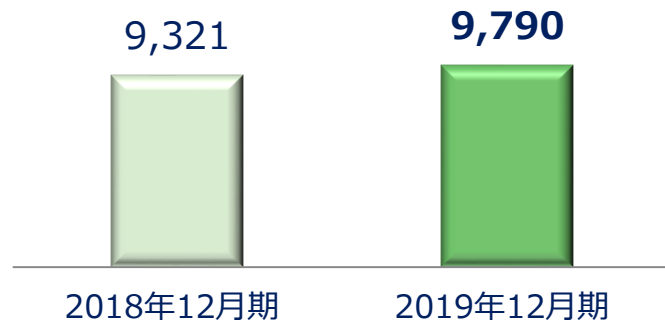
-

- 米中貿易摩擦による影響

	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	<b>953</b>	96.0
為替影響排除後	<b>976</b>	98.4



## 売上高（百万円）



+

- 販売数量の増加  
(パッケージ用・缶用インキ)

-

- 円高による為替換算の影響

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	<b>469</b>	5.0
為替影響排除後	<b>1,085</b>	11.6

## 営業利益（百万円）



+

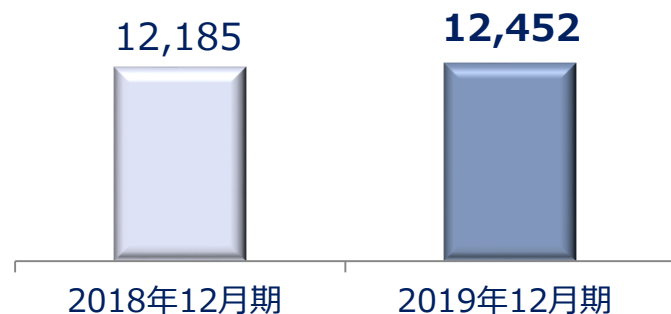
- 販売数量の増加  
(パッケージ用・缶用インキ)

-

- 一部原材料価格の高騰
- 生産体制の再編に伴うコストの増加
- 独社買収関連の一時費用

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	△ <b>193</b>	-
為替影響排除後	△ <b>251</b>	-

## 売上高 (百万円)



+

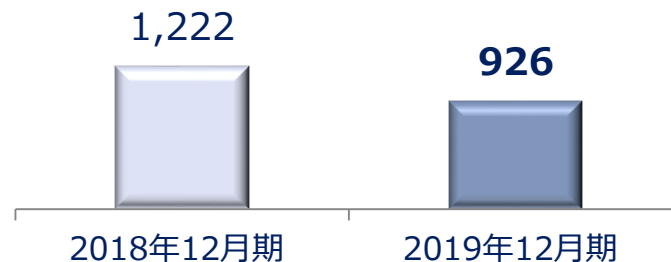
- 販売数量の増加  
(インクジェットインキ、トナー)

-

- パネル市況悪化に伴う販売数量の減少  
(カラーフィルター用顔料分散液)

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	<b>267</b>	2.2
為替影響排除後	<b>457</b>	3.8

## 営業利益 (百万円)



+

- 販売数量の増加  
(インクジェットインキ、トナー)

-

- 原材料価格の上昇
- パネル市況悪化に伴う販売数量の減少  
(カラーフィルター用顔料分散液)

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	△ <b>296</b>	△24.3
為替影響排除後	△ <b>306</b>	△25.1

# 連結貸借対照表の主な増減 ・ 連結キャッシュフロー計算書

## ◆ 連結貸借対照表の主な増減

(単位：億円)

科目	2018年 12月31日現在	2019年 12月31日現在	増減
現金・預金	71	101	29
売上債権	465	458	△ 6
流動資産	757	790	32
固定資産	697	692	△ 4
資産合計	1,454	1,482	27
仕入債務	318	306	△ 11
短期借入金	104	81	△ 22
流動負債	492	463	△ 29
長期借入金	73	80	7
固定負債	188	205	16
負債合計	680	668	△ 12
自己資本 ※	743	766	23
非支配株主持分	30	47	16
純資産合計	773	814	40
負債・純資産合計	1,454	1,482	27
期末レート (USD円)	111.00円	109.56円	

### 借入金合計

2018年12月末 177億円  
**2019年12月末 162億円**

### 自己資本比率

2018年12月末 51.1%  
**2019年12月末 51.7%**

※ 自己資本  
 = 株主資本合計 + その他の包括利益累計額合計

## ◆ 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

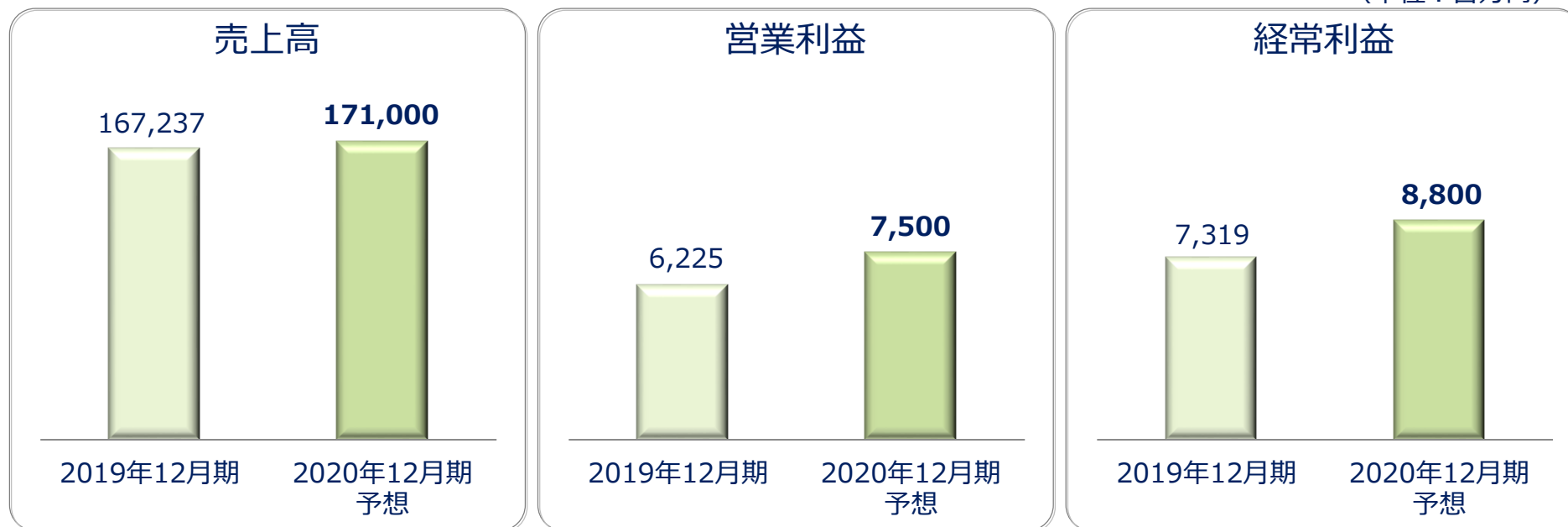
科目	期別 2018年12月期 (2018.1.1~2018.12.31)	2019年12月期 (2019.1.1~2019.12.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,239	<b>9,819</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,279	△ <b>5,106</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122	△ <b>3,821</b>
現金及び現金同等物の期末残高	6,788	<b>9,361</b>

# 2020年12月期 通期予想と今後の計画



# 通期業績予想

(単位：百万円)

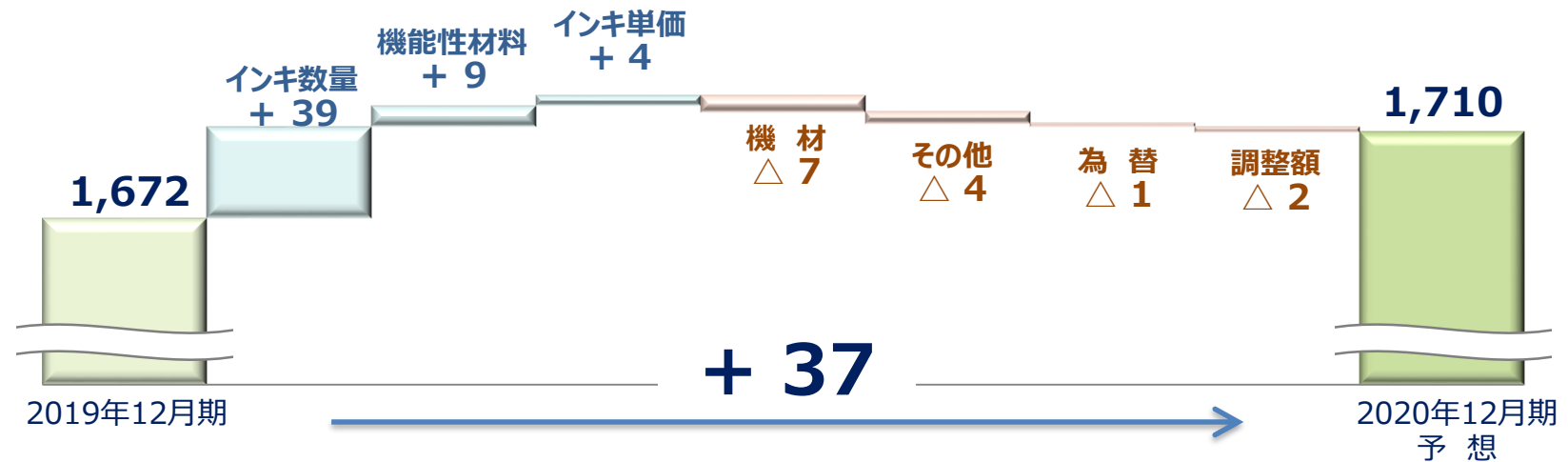


(単位：百万円)

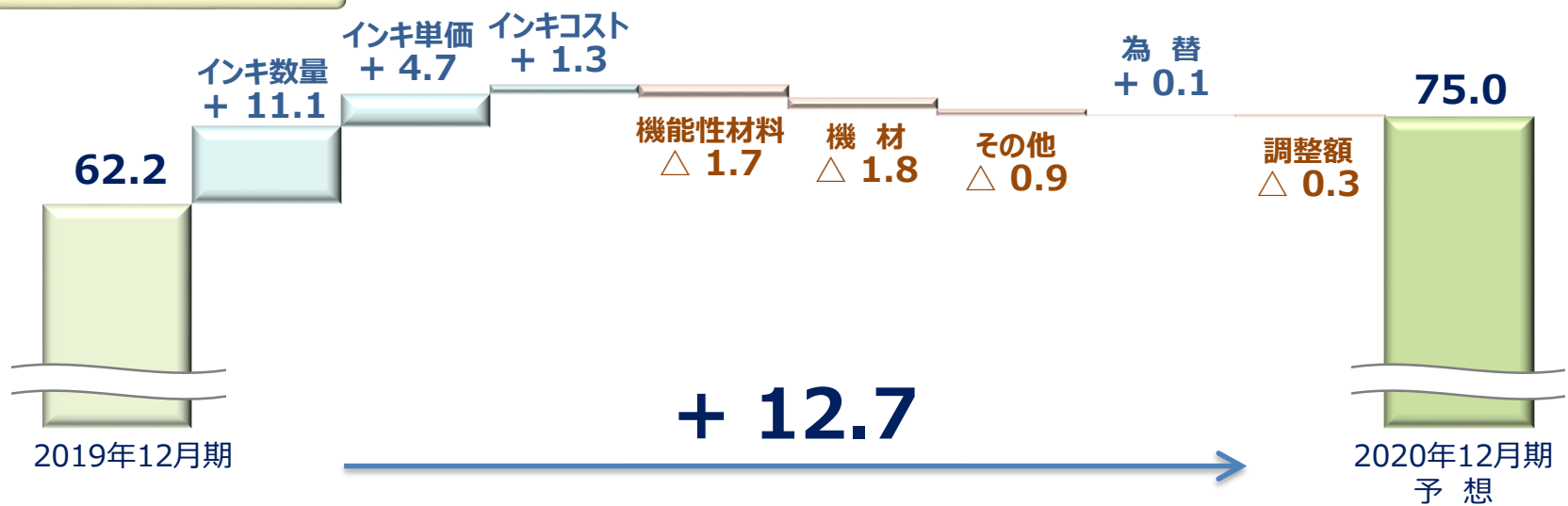
	2019年12月期	2020年12月期 予想		
	金額	金額	増減額	増減率 (%)
売上高	167,237	<b>171,000</b>	3,763	2.2
営業利益	6,225	<b>7,500</b>	1,275	20.5
経常利益	7,319	<b>8,800</b>	1,481	20.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,114	<b>5,800</b>	1,686	40.9
期中レート (USドル)	109.05円	<b>109.00円</b>		

# 要因別増減予想

## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



# セグメント別 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2019年	2020年予想	増減率%	2019年	2020年予想	増減率%
印刷インキ・機材（日本）	51,876	<b>52,764</b>	1.7	822	<b>1,407</b>	71.2
印刷インキ（アジア）	35,277	<b>37,047</b>	5.0	2,420	<b>2,769</b>	14.4
印刷インキ（米州）	48,771	<b>49,554</b>	1.6	1,945	<b>1,944</b>	△0.1
印刷インキ（欧州）	9,790	<b>9,932</b>	1.5	△985	△ <b>363</b>	-
機能性材料	12,452	<b>13,350</b>	7.2	926	<b>759</b>	△18.0
報告セグメント計	158,168	<b>162,647</b>	2.8	5,129	<b>6,516</b>	27.0
その他	16,837	<b>16,362</b>	△2.8	369	<b>285</b>	△22.8
調整額	△7,767	△ <b>8,009</b>	-	727	<b>699</b>	-
合計	167,237	<b>171,000</b>	2.3	6,225	<b>7,500</b>	20.5

## 利益プラス要因

- パッケージ用インキの拡販
- 新規ユーザー獲得（米州）
- 環境配慮型インキの拡販
- 販売価格の改定（日本）
- 原材料のグローバル共同購買
- 欧州の組織再編と設備投資効果

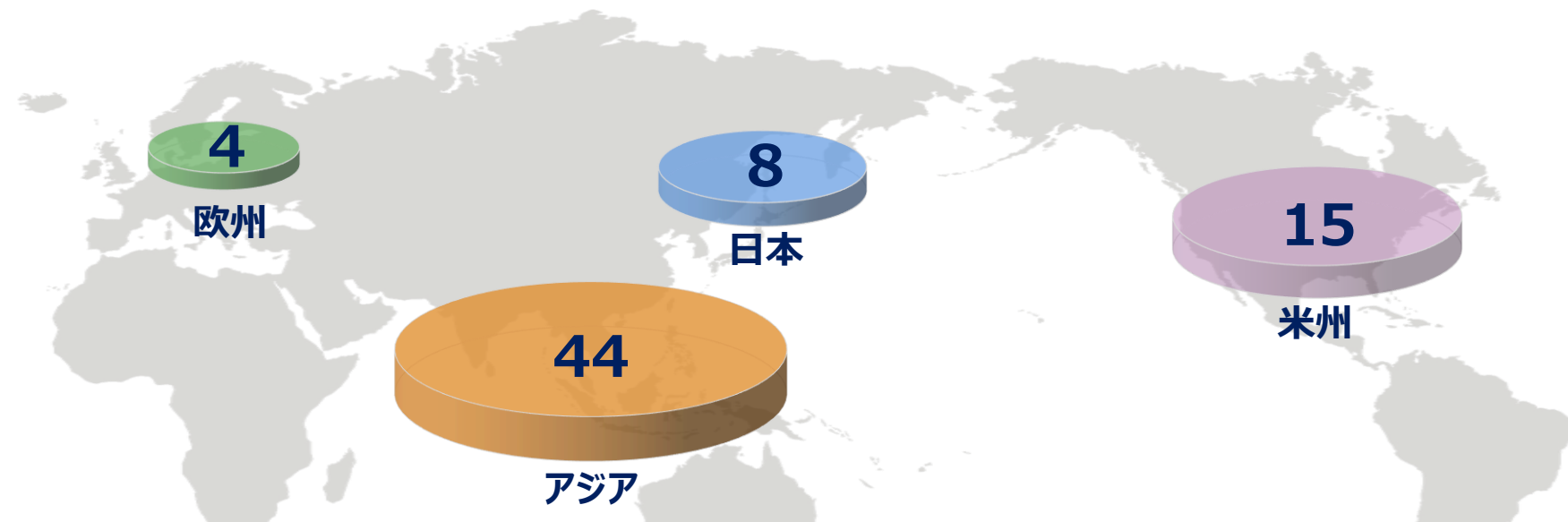
## 利益マイナス要因

- 先進国を中心としたデジタル化の影響による需要減
- 一部材料価格の高止まり
- 事業拡大に伴う人件費と減価償却費の増加（米州）
- 液晶パネルの単価下落

# 設備投資額（非連結含む）

## 2020年12月期 地域別投資計画

（単位：億円）



地域	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期予定
日本	38	17	8
アジア	12	20	44
米州	14	10	15
欧州	3	4	4
合計	66	51	72
減価償却費	42	45	48



## イギリス

- 缶用インキ設備増強  
(’20年春完工予定)

## 中国 (広東省茂名)

- オフセットインキ第2工場建設  
(’21年完工予定)

## 日本 (大阪)

- 研究棟の拡張・充実  
(’21年完工予定)

## スペイン

- パッケージ用インキ設備増強  
(’20年春完工予定)

## アメリカ (ウィスコンシン)

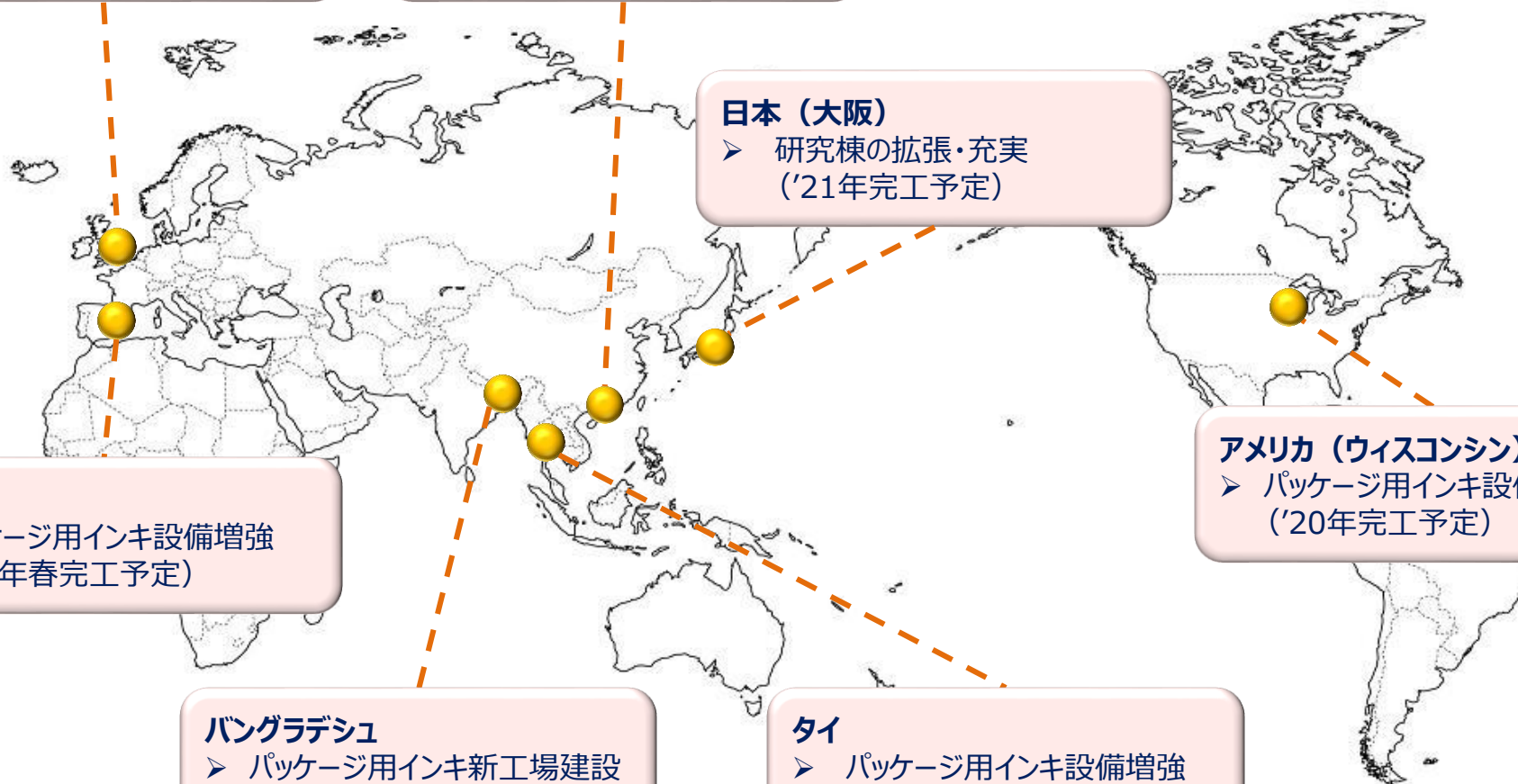
- パッケージ用インキ設備増強  
(’20年完工予定)

## バングラデシュ

- パッケージ用インキ新工場建設  
(’20年完工予定)

## タイ

- パッケージ用インキ設備増強  
(’20年完工予定)

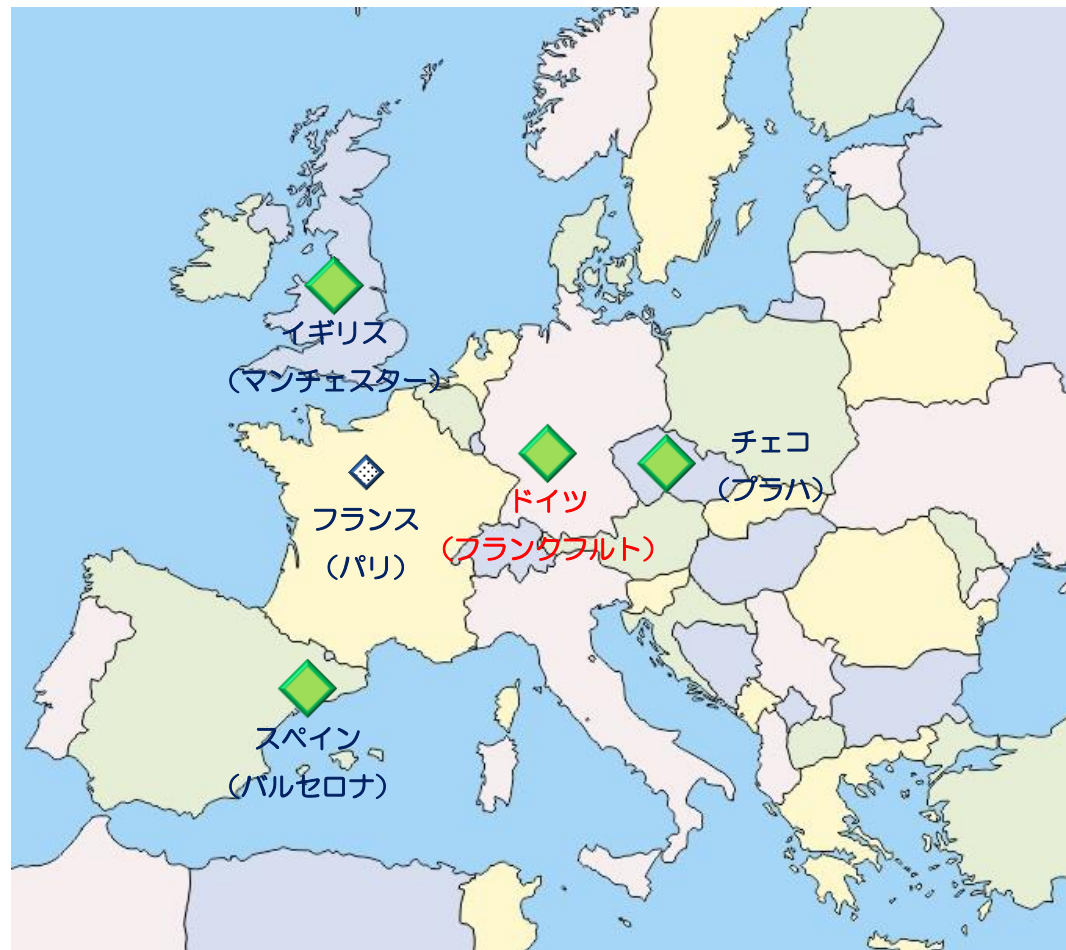


## 欧州事業の課題

- ◆ 販売拡大に伴う生産能力の不足とそれに伴う経費増加  
(人件費・外注委託費・運送費・外部倉庫費等)
- ◆ Brexitによる不確定要素

## 欧州事業の改善

- ◆ 生産拠点の再編
  - フランス法人の工場閉鎖 (営業拠点として継続)
  - ドイツに新拠点 (RUCO社買収)
- ◆ 設備能力増強
  - イギリス (金属缶用インキ)
  - スペイン (パッケージ用インキ)
- ◆ 品目統合による生産効率化
- ◆ エネルギー硬化型製品へのシフトと拡販
- ◆ EU域内での金属缶用インキ生産



◆ 生産拠点

## 欧州事業の早期黒字化へ

## ■ 概要

### A. M. Ramp & Co. GmbH（通称 RUCO 社）

- 所在地 : ドイツ連邦共和国（フランクフルト郊外）
- 事業内容 : 各種インキの製造・販売（UV、水性、溶剤性）
- 株式取得 : 2020年6月までに完全取得予定
- 売上高 : 30.6百万ユーロ（約39.9億円） ※2018年12月末



## ■ 株式取得の目的

- ◆ 欧州の生産・販売体制の再構築とBCP対応
- ◆ 欧州最大の市場であるドイツでの拡販
- ◆ 東欧・ロシア向け販売網・物流網の拡大
- ◆ 欧州地域におけるブランド力強化
- ◆ RUCO社の技術と新しいマーケットの獲得



## 【既存事業】

### 印刷インキ事業



パッケージ印刷分野  
情報メディア印刷分野



- ・低炭素型社会（省エネ）
- ・海洋プラスチック問題の解決

### 機能性材料事業



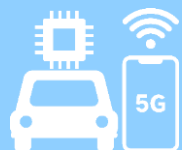
インクジェット印刷分野  
ディスプレイ関連分野



- ・印刷廃棄物の削減
- ・タッチパネル汎用化
- ・高色域再現（BT.2020）

## 【新規事業】

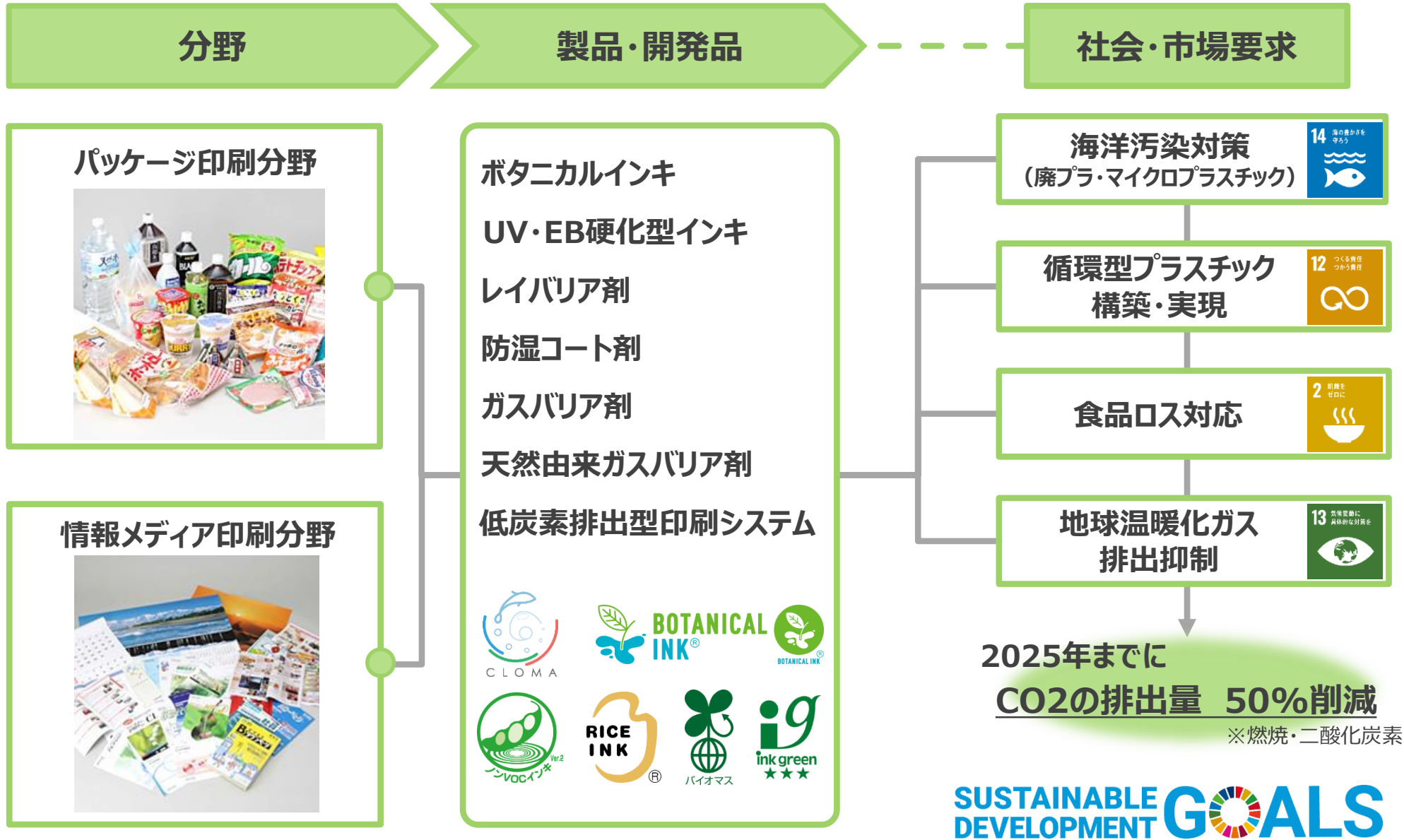
### 新規事業の創出

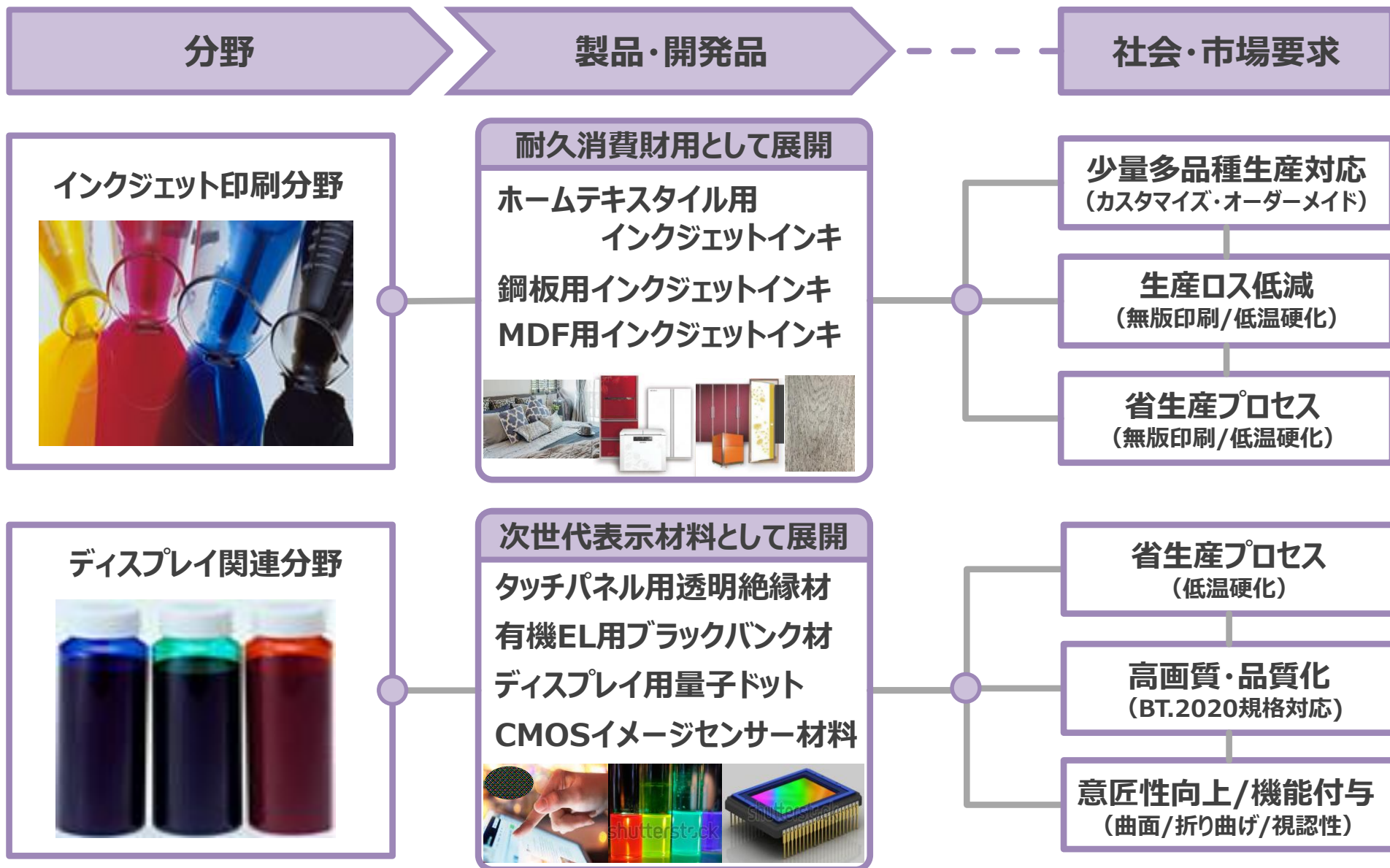


オプトケミカル分野  
エレクトロニクスケミカル分野



- ・センサー多様化
- ・自動運転・電動化
- ・省電力化

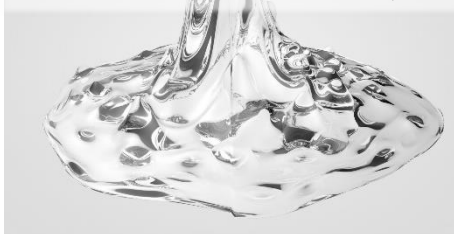




## 分野/ターゲット製品

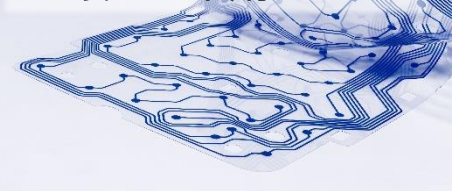
### オプトケミカル分野

- ・高屈折材料・低屈折材料
- ・LED封止剤・レイバリア剤



### エレクトロニクスケミカル分野

- ・導体（金属・カーボン）
- ・半導体・絶縁体
- ・バリアコート剤

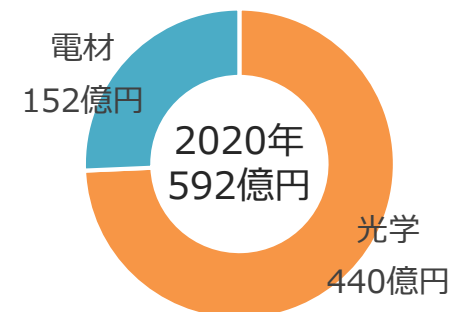


## 当社のアプローチ

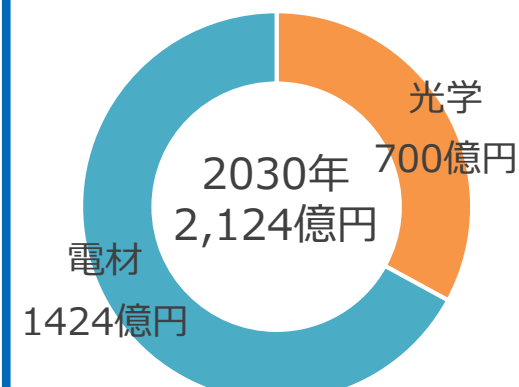


## 市場規模

### 新規事業でターゲットとする市場規模



拡大



富士キメラ総研/富士経済より

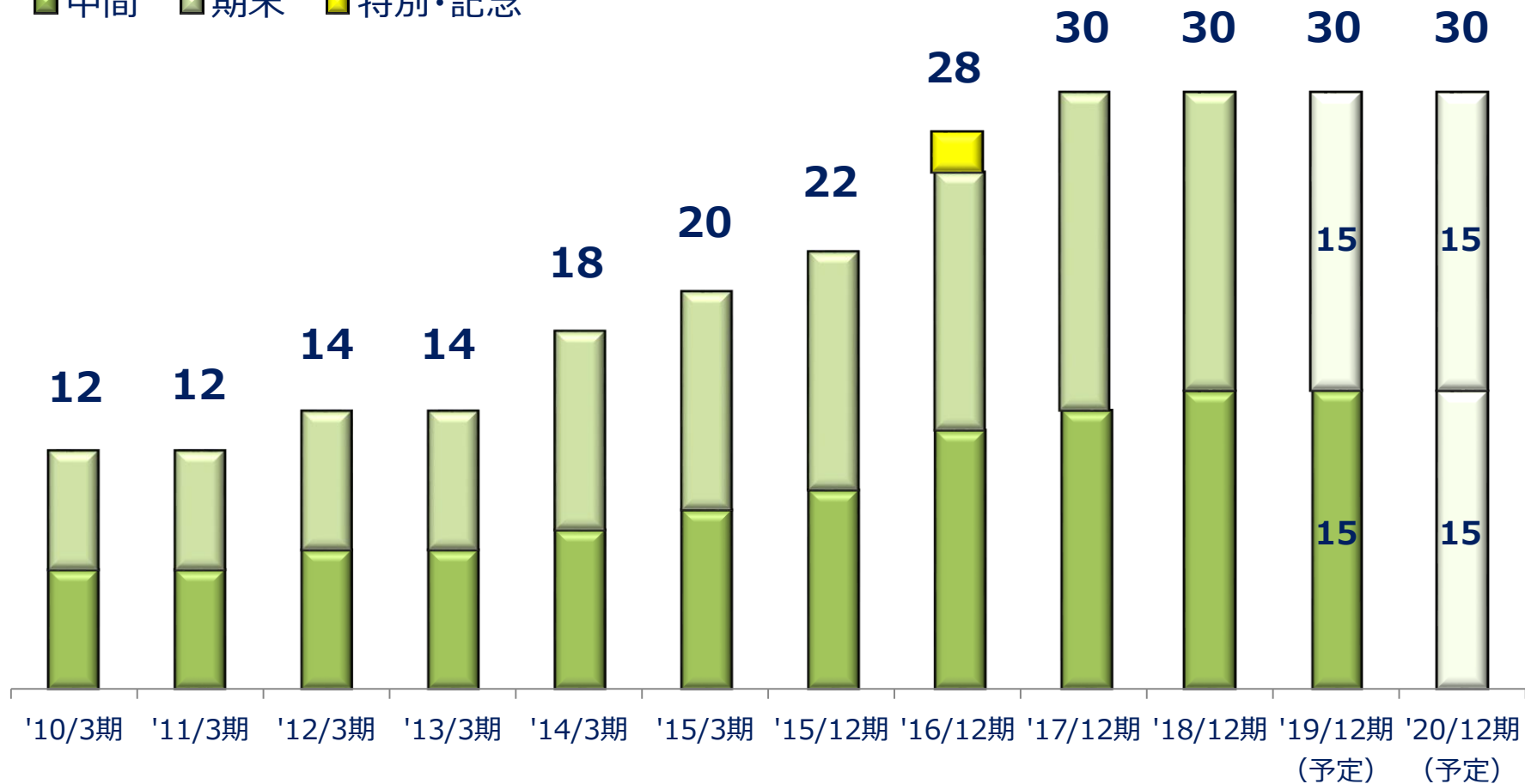
# 配当金の推移（1株当たり）

## <配当方針>

- 安定的な利益還元
- 連結配当性向20%前後～30%前後

(単位：円)

■ 中間 ■ 期末 ■ 特別・記念





## E 環境

- 環境基本理念・方針、環境マネジメント体制
- 二酸化炭素排出量、廃棄物および大気汚染物質排出量の削減、水質汚濁防止、生物多様性の保全
- 環境配慮型製品の展開  
(環境マークの例) ※当社オリジナルマーク含む



ボタニカル  
インキマーク



バイオマス  
マーク



インキグリーン  
マーク



ノンVOC  
インキマーク



植物油  
インキマーク

- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に選定  
炭素効率性第1十分位
- 再生可能エネルギーの導入  
(滋賀工場に太陽光発電所を設置)



指数のロゴ



太陽光第一発電所



太陽光第二発電所

- 内部統制システム

## S 社会

- 労働環境
  - ・ 時間外労働削減に向けた労働環境の改善  
(労働時間管理の徹底、「ノー残業デー」の実施など)
  - ・ 年次有給休暇の取得促進  
(全社平均年間取得率50%以上の維持、  
年休取得の促進期間設定など)
  - ・ 次世代育成に関する支援
- 労働安全衛生
  - ・ 国内（4工場）  
OSHMS認定取得、T P Mアドバンスト特別賞を受賞
  - ・ 海外  
OHSAS18001/ISO45001認証取得（5ヶ国）  
T P M優秀賞を受賞（米国のカンザス工場）

## G ガバナンス

- コーポレート・ガバナンス体制  
〈意思決定・業務執行体制〉

- ・ 取締役8名（社外取締役3名（うち女性1名）2020/4以降予定）
- ・ 執行役員制度（2018年3月導入）
- ・ 指名・報酬委員会（2018年12月設置）
- ・ インターナショナル・アドバイザリー・ボード（2015年6月設置）
- ・ CSR委員会を最上位の委員会とし、その下に各種委員会を設置

### 〈監査体制〉

- ・ 監査役会設置会社
- ・ 監査役4名（社外監査役2名含む）

- 健康管理

- 社会・地域への貢献

- 倫理行動基準、  
内部通報制度、個人情報保護

# SAKATA INX...

Visual Communication Technology

